

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2003-181397 (P2003-181397A)  
 【公開日】平成 15 年 7 月 2 日 (2003.7.2)  
 【出願番号】特願 2002-260123 (P2002-260123)  
 【国際特許分類第 7 版】  
     B 0 8 B     5/04  
     D 0 1 G     15/76  
 【F I】  
     B 0 8 B     5/04                   Z  
     D 0 1 G     15/76

【手続補正書】  
 【提出日】平成 17 年 7 月 15 日 (2005.7.15)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

繊維材料のためのカード、清掃機械等において、回転する鋸歯又はピン付きのローラを少なくとも備え、ローラの清掃位置に隣接して負圧を付与することが可能であり、そして中央の吸引装置を介して発生された負圧が集合配管と個別配管とを介して清掃位置に付与され、そして吸引配管は主シリンダに隣接して恒常的に且つ時間的に部分的吸引がなされる装置であって、ローラ (3 a ~ 3 c、4、5) に隣接する清掃位置 (1 6 ~ 3 1、5 2) の少なくとも一部が時間的に専ら部分吸引され、短時間完全吸引され、そして部分吸引又は完全吸引のための切替装置 (4 6) が設けられていることを特徴とする装置。

【請求項 2】  
 該切替装置 (4 6) が、部分吸引と完全吸引の間の切り替えを可能とすることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】  
 清掃位置 (1 6 乃至 3 2、5 2) が時間的に限定されて少量の空気量で塵 (5 1) を吸引して蓄えることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の装置。

【請求項 4】  
 蓄えられた塵 (5 1) が高空気量で短時間内に吸引されることを特徴とする請求項 3 に記載の装置。

【請求項 5】  
 吸引配管 (3 8 乃至 4 3) は少なくとも部分的にグループ (3 4 乃至 3 7) に纏められていることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の装置。

【請求項 6】  
 該切替装置 (4 6) が弁 (4 7、4 7 a 乃至 4 7 d) を有することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の装置。

【請求項 7】  
 該弁は、スライダ装置 (4 7) として構成されていることを特徴とする請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】  
 該清掃位置 (2 0 乃至 2 9) は、主シリンダ (4) に隣接して配置されていることを特

徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載の装置。

【請求項 9】

該清掃位置（16 乃至 19）は、テーカインローラ（3a 乃至 3c）の少なくとも一つの周りに配置されていることを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれかに記載の装置。

【請求項 10】

該清掃位置（30、31）は、ドッファ（5）の周りに配置されていることを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれかに記載の装置。

【請求項 11】

該清掃位置（32）は、下部カード室（54）の中に配置されていることを特徴とする請求項 1 乃至 10 のいずれかに記載の装置。

【請求項 12】

該弁（スライダ装置 47）は、電子制御調整装置に接続されていることを特徴とする請求項 7 に記載の装置。